

## 前回(第49回)全日本包装技術研究大会 優秀発表者一覧

○印は発表者 ※発表当時の所属・役職です	
<b>輸送包装部会</b>	<b>食品包装部会</b>
傷防止効果をねらったパルプモールドの実験的検証 ○愛知県産業技術研究所 工業技術部 環境材料室 技師 徳田 宙瑛 氏 愛知県産業技術研究所 工業技術部 環境材料室 飯田 恭平 氏 愛知県産業技術研究所 工業技術部 環境材料室 主任研究員 中川 幸臣 氏	耐圧用PETボトルの内製化技術の開発 ○アサヒ飲料 研究開発本部 技術研究所 生産技術G 副課長(包装管理士) 石川 将人 氏 アサヒ飲料(株) 技術研究所 生産技術G 長谷川和夫 氏 アサヒ飲料(株) 技術研究所 生産技術G 早野 達宏 氏
ドラム缶等の缶製品の収集運搬作業に使用するパレット ○山九(株) 技術・開発部 根本 鉄郎 氏 山九(株) 3 PL開発営業部 石井 道順 氏 山九(株) 技術・開発部 江口 正修 氏	3次元シミュレーションモデルを用いた缶ビール製造工程の改善事例 ○アサヒビール(株) 生産技術センター 主任(包装管理士) 田村 浩章 氏 成蹊大学 理工学研究所 工村 康平 氏 成蹊大学 理工学研究所 北川 崇 氏
「ネクターサー」/「シンジャーハイボール」(低アルコール飲料)向けカートの環境負荷低減への取組み ○サッポロビール 新価値開発部 パッケージング技術開発センター 課長(包装管理士) 武井 義明 氏	逆止弁付き鮮度保持容器の開発 ○キッコーマン 食品(株) 商品開発本部 福本 将士 氏 キッコーマン 食品(株) 商品開発本部 篠田 優美 氏 キッコーマン 食品(株) 商品開発本部 篠田 優美 氏
新しい構造の組仕切の開発 ○㈱デンソーロジテム 第1業務本部 包装管理部(包装管理士) 黒柳 雄一 氏	メカニカルリサイクルによるボトルtoボトルリサイクルシステムの確立 ○サントリビジネスエキスパート㈱ 新包装材料開発推進部 菊池 大輔 氏
<b>電気機器包装部会</b>	<b>新耐熱紙容器 Hot Magic Cupの開発</b>
大型複写機のオール段ボール包装 ○中瀬川包装工業(株) 営業本部 掛川営業所(包装管理士) 暮石 達哉 氏	○東洋興業(株) 新事業・新製品開発部 紙容器開発Gr 養田 剛 氏 東洋興業(株) 新事業・新製品開発部 紙容器開発Gr 長瀬 勇二 氏
ビデオカメラの段ボール緩衝材(段目斜めによる省材料化) ○レノゴ(株) 豊橋工場 営業部 営業課 古田 泰之 氏 ソニーイーエムサービス(株) 東海テック	新容量軽量DLC/リアPETボトルについて ○三菱樹脂㈱ 平塚工場 製造1部 容器技術G グループリーダー 鮫島 拓也 氏
<b>化粧品包装部会</b>	<b>抗菌機能付水切りゴミ袋「ダストマン®」の開発</b>
新機構バフ付ルースチーク容器の開発 ○花王(株) 包装容器開発研究所 竹内 順子 氏 花王(株) 包装容器開発研究所 岡 政弘 氏 ㈱キワ 外装開発部 佐々木 新 氏 ㈱キワ 外装設計部 佐藤 知也 氏	○レノゴ(株) 中央研究所 新素材研究グループ 遠藤 浩平 氏 レノゴ(株) 中央研究所 新素材研究グループ 宇都宮孝昭 氏 ㈱クレハ リビング用品開発部 倪 祈安 氏 ㈱クレハ リビング用品開発部 佐々木 和美 氏
<b>医薬品包装部会</b>	<b>生活者包装部会</b>
シリコン製チューブ自動巻取り包装機開発について ○カエエンジニアリング エンジニアリンググループ 部長(包装管理士) 木村 壽志 氏	フロア用清掃道具の開発 ～消費者視点に基づいたモノ作り～ ○花王(株) 包装容器開発研究所 主任研究員 野田 幸男 氏
PTP包装工程における錠剤充填不良の改善事例 ○大日本住友製薬㈱ 生産技術部 製剤技術グループ(包装管理士) 伊藤 宏樹 氏	濡れた手で使っても手や計量スプーンが洗剤で汚れないユニバーサルデザイン粉末洗剤容器の開発 ○ライオン(株) 研究開発本部 包装技術研究所 横巻 敦司 氏 ライオン(株) 研究開発本部 包装技術研究所 柏村 有美 氏 ライオン(株) 研究開発本部 包装技術研究所 山本 昌彦 氏
<b>包装資材部会</b>	<b>柔軟仕上げ剤のキャッピング解析</b>
はっ水性に優れた紙製滑り止めシートの開発 ○愛知県産業技術研究所 工業技術部 環境材料室 主任研究員 中川 幸臣 氏 ㈱セイホウ 名古屋大学 工学部 高井研究室	○ライオン(株) 研究開発本部 包装技術研究所(包装管理士) 吉田 航 氏
酸化カルシウムを利用した工業用乾燥剤の開発 ○㈱坂本石灰工業所 企画開発室 高木 泰憲 氏 富士物流㈱ 新井 弘久 氏	<b>環境包装部会</b>
	“ハンディ・エコボトル”の開発 ○アサヒ飲料(株) 研究開発本部 技術研究所 課長 長谷川和夫 氏 アサヒ飲料(株) 技術研究所 副課長 佐藤 朋巳 氏
	バイオマスポリエチレンのフレキシブルパッケージへの利用 ○凸版印刷(株) 技術開発本部 商品開発部(包装専士) 大塚 浩之 氏

とき：平成23年12月7日～8日 会場：愛知県産業労働センター WINC AICHI

## 会場へのアクセス

公共交通機関でお越しの場合	
●東京心から	
東 京	29分 JR有楽町線
八丁堀 (東京メトロ丸の内線有楽町線)	27分 JR有楽町線
新 木 場 (東京メトロ有楽町線有楽町線)	21分 JR有楽町線
●横浜方面から	
横 浜	26分 JR東海東横線
横 浜	30分 JR東横線
横 浜	25分 JR東横線
横 浜	7分 JR東横線
横 浜	70分 東横バス
●羽田空港から	
羽田空港第2ビル	29分 JR東横線
羽田空港第1ビル	17分 JR東横線
羽田空港第2ビル	3分 JR東横線
羽田空港	12分 東横バス
羽田空港	40分 東横バス
●成田空港から	
成田空港	2分 JR成田線
成田空港	35分 JR成田線
成田空港	3分 東横バス
成田空港	30分 東横バス
●千葉駅	
千 葉	4分 JR成田線
千 葉	6分 JR成田線
千 葉	6分 JR成田線
千 葉	12分 JR成田線
●埼玉方面から	
南 浦 和	45分 JR東武東上線
南 浦 和	45分 JR東武東上線
南 浦 和	7分 JR東武東上線
南 浦 和	14分 JR東武東上線
南 浦 和	60分 JR東武東上線



## 参加者の皆様へのご願い

- 会場内について
  - 座席は自由席です。出来るだけ前方から順に間を空けずご着席下さい。
  - なお、お荷物やテキストを置いての席の確保はご遠慮下さい。場合によっては整備させていただきます。
  - 各会場において聴講が集中した場合、立ち見になる場合もございます。ご理解とご協力をお願い致します。
  - 会場内では、携帯電話等の通信機器のご利用はご遠慮下さい。マナーモードにされるか、電源をOFFにして入場下さい。
  - 1日目・2日目ともに、当会関係者及び発表者の関係者等を除き、録音・撮影は固くお断り致します。

- お荷物について
  - 当会専用のクロークにお預け頂くか各自で管理下さい。
  - 貴重品は各自管理下さい。
- 参加証(胸プレート)について
  - 大会期間中は必ず着用して下さい。

- 昼食について
  - ご昼食は、周辺の飲食施設にて各自お摂り下さい。
- 駐車場について
  - 会場内駐車場を使用される場合は各自でご精算下さい。

\* その他御不明な点やご質問等ございましたら、当会「総合受付」の日本包装技術協会担当者にお尋ね下さい。

公益社団法人日本包装技術協会  
「全日本包装技術研究大会」事務局

## 第50回 東京大会

# 全日本包装技術研究大会 参加者募集のご案内

日 時：平成24年11月29日(木)～11月30日(金)・2日間  
 第1日目 10:15～17:45 第2日目 10:00～16:00  
 場 所：「幕張メッセ国際会議場」千葉市美浜区中瀬2-1  
 主 催：公益社団法人日本包装技術協会  
 後 援：経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁  
 日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部・他関連団体

## ご 案 内

地球規模の環境問題や急速に進展する高齢化社会への対応等、社会的に多様化時代に入り、包装界もこのニーズに対応すべく、新しい技術の開発や研究に力を注ぐ一方、更なる合理化や改善に対する努力も重要な課題となっています。そこで当協会では関係各位のご高配を得て、第50回全日本包装技術研究大会をJPI各支部協力のもと、本年は千葉市にて開催致すことになりました。包装に関する工夫の実例や、研究開発の成果を広く発表すると共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的とし、包装をめぐる諸問題を多面的かつ、きめ細かにとらえ研鑽する機会として開催されます。会員各位をはじめ関係者多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

公益社団法人日本包装技術協会  
会長 池田 弘 一

## 開 催 要 領

主 催：公益社団法人日本包装技術協会  
 後 援：経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部  
 日本MH協会・日本包装専士会・日本包装管理士会  
 期 日：平成24年11月29日(木)～11月30日(金)・2日間  
 【第1日目】10:15～17:45 【第2日目】10:00～16:00  
 会 場：「幕張メッセ国際会議場」千葉市美浜区中瀬2-1  
 発表件数：特別講演2件/部会発表69件  
 部 会：輸送包装部会・食品包装部会・医薬品包装部会・化粧品包装部会・生活者包装部会・包装資材部会・電気機器包装部会・環境包装部会

個人情報の取扱いについて	
参 加 費：(テキスト、懇親会、消費税含む)	
会 員	31,500円/1名 法人会員1社3名以上同一申込書にて申込の場合 24,150円/1名
一 般	54,600円/1名

## 申 込 要 領

- 参加申込方法
  - 本紙参加申込書に必要事項をご記入の上、ファクシミリ(03-3543-8970)にてお申込下さい。
  - 請求書を発行いたしますので参加費は、指定の口座にお振込み下さい。
- 参加証
  - 参加申込書が事務局に到着後、申込者各位宛に「参加証・請求書」を送付します。(参加証が未着でも参加できますが、当日受付にて参加証を入手して下さい。その際、名刺を持参下さい)
  - 出席の受付とテキストの交付は、本大会受付にて開催期間中に行いますので、参加証を当日必ず持参下さい。
- 申込期限
  - 平成24年11月26日(月)
- 参加費の納入方法
  - 大会参加費は銀行振込にて11月28日(水)までに必ず指定口座へご納入下さい。
- お振込先
  - 三菱東京UFJ銀行 堀留支店 当座預金 No.365818  
口座名：「シャ」ニホンホウソウギジュツキョウカイ
  - 三菱東京UFJ銀行 銀座支店 当座預金 No.1634  
口座名：「シャ」ニホンホウソウギジュツキョウカイ

お申し込み先 公益社団法人日本包装技術協会 全日本包装技術研究大会係(担当：小橋(経理)：加納)  
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル TEL(03)3543-1189 FAX(03)3543-8970

## 特別講演① 講師紹介

【テーマ】 ビール容器包装の50年を振り返って  
 【講 師】 アサヒグループホールディングス株式会社 相談役  
 公益社団法人日本包装技術協会 会長 池田 弘一 氏



(生年月日) 昭和15年4月21日  
 (学歴) 昭和38年3月 九州大学 経済学部卒  
 (経歴) 昭和38年4月 アサヒビール株式会社入社  
 昭和63年9月 埼玉支店長  
 平成2年9月 埼玉支社長  
 平成4年3月 理事 埼玉支社長  
 平成5年9月 理事 広島支店長  
 平成7年9月 理事 九州地区本部長兼中国地区本部長兼四国地区本部長  
 平成8年3月 取締役 九州地区本部長兼中国地区本部長兼四国地区本部長  
 平成8年9月 取締役 九州地区本部長兼中国地区本部長  
 平成9年3月 常務取締役 営業本部本部長兼九州地区本部長兼中国地区本部長  
 平成9年9月 常務取締役 営業本部本部長兼首都圏・関西越地区本部長  
 平成10年9月 常務取締役 営業本部本部長兼首都圏本部長  
 平成11年3月 専務取締役 営業本部本部長兼首都圏本部長  
 平成12年3月 専務執行役員 営業本部本部長兼首都圏本部長  
 平成12年10月 専務執行役員 酒類事業本部長  
 平成13年3月 専務取締役兼専務執行役員 酒類事業本部長  
 平成13年9月 専務取締役  
 平成14年1月 代表取締役社長兼COO  
 平成18年8月 代表取締役社長兼CEO  
 平成22年3月 相談役  
 平成23年7月 アサヒグループホールディングス株式会社 相談役  
 (現在に至る)

【日時】平成24年11月29日(木) 11:00～12:00 【会場】幕張メッセ国際会議場 2階 国際会議室

## 特別講演② 講師紹介

【テーマ】 創業80周年を迎えたマツモトキヨシの今後とメーカー様に対する期待  
 —ドラッグストアから見た消費者インサイト—  
 【講 師】 株式会社 マツモトキヨシホールディングス 専務取締役  
 株式会社 マツモトキヨシ 取締役副社長 成田 一夫 氏



(生年月日) 昭和25年6月20日  
 (学歴) 北海道大学 経済学部 経営学科卒  
 (経歴) 昭和49年 株式会社 リクルートセンター(現㈱リクルート)入社  
 —日本のフランチャイズ企業の創業期におけるFC事業にかかわる  
 平成11年 株式会社 プラザクリエイト 専務取締役  
 —IPOを担当し上場を実現するとともに、会社更生法の適用を受けた企業再生に携わる  
 平成14年 株式会社 靴のマルトミ(後の㈱ワンゾーン) 代表取締役CEO  
 —民事再生の適用を受けた靴のマルトミを企業再生  
 平成16年 株式会社 マツモトキヨシ入社  
 —新たな事業領域としてドラッグストアのフランチャイズシステムを開発・事業展開  
 現在 株式会社 マツモトキヨシホールディングス専務取締役株式会社 マツモトキヨシ取締役副社長  
 —財務経理・人事・総務・情報システム・FC事業等を統括管理するとともに、マツモトキヨシグループにおける経営戦略・マーケティング戦略を中心に推進

【日時】平成24年11月29日(木) 12:10～13:10 【会場】幕張メッセ国際会議場 2階 国際会議室

## 懇親会のご案内

【開催日】平成24年11月29日(木) 16:35～17:45

【会場】幕張メッセ 国際会議場2階 「国際会議室」

【参加資格】第50回全日本包装技術研究大会参加者(無料)





# 第50回全日本包装技術研究大会

と き：平成24年11月29日(木)・30日(金)  
 場 所：幕張メッセ国際会議場

主 催：公益社団法人日本包装技術協会 関東支部・関西支部・中部支部・西日本支部・東北支部・北海道支部・本部  
 後 援：経済産業省・農林水産省・国土交通省・防衛省・特許庁・日本商工会議所・公益財団法人日本生産性本部・他関連団体

○は発表者

11月29日(木)		国際会議場 (2F)		
時間	内容	会場外観	会場内観	
9:30~	受付開始			
10:15~10:25	開会挨拶			
10:25~10:55	前回優秀発表者表彰式			
11:00~12:00	特別講演①『ビール容器包装の50年を振り返って』アサヒグループホールディングス株式会社 相談役 公益社団法人日本包装技術協会 会長 池田弘一氏			
12:10~13:10	特別講演②『創業100年を越えたマツコキヨシの今後とメーカへ対する期待—ドラッグストアから見た消費者インサイト—』株式会社 マツコキヨシホールディングス 専務取締役 株式会社 マツコキヨシ 取締役副社長 成田一夫氏			
13:10~14:30	昼食休憩			
研究発表部会名	食品包装部会 301会議室 (3F)	包装資材部会 302会議室 (3F)	輸送包装部会 303会議室 (3F)	
発表時間帯	1 14:30~14:55 500mlPETボトルの握りやすさ定量評価について キリンビール㈱ 技術開発部 パッケージング技術開発センター(包装管理士) ○曾我 智浩氏	2 15:00~15:25 鮮度の一滴500ml 樹脂量低減～プラスチックホルダーから紙ホルダーへ～ ヤマサ醤油㈱ 製造本部 醤油開発室(包装管理士) ○高橋 明珠氏 ㈱悠心 代表取締役 二瀬 克規氏	3 15:30~15:55 明治ボーノ zeroes の包装開発 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G(包装管理士) ○東 俊二氏 ㈱印刷㈱ 生活環境事業本部 生活環境製造事業部 開発促進本部 商品開発1部 田中淑希子氏	4 16:00~16:25 高機能ポリエチレンを活用した軟包装材料の薄肉化 ㈱の発明 アイランド研究所 基礎技術開発グループ 包装プロセス研究グループ ○石原 義夫氏 ㈱の発明 サッポロ飲料研究所 パッケージンググループ 包装プロセス研究グループ ○北川 真由美氏 ㈱の発明 三菱化成株式会社 包装プロセス研究グループ 包装プロセス研究グループ ○長瀬 龍典氏
16:35~17:45	参加者交流会【会場：国際会議場 (2F)】			

11月30日(金)		国際会議場 (2F)		
時間	内容	会場外観	会場内観	
研究発表部会名	食品包装部会 301会議室 (3F)	食品包装部会 302会議室 (3F)	輸送包装部会 303会議室 (3F)	
発表時間帯	1 10:00~10:25 十六茶増量「バンディ-エコトルα」の開発 アサヒ飲料㈱ 技術研究所 生産技術グループ 副課長 ○佐藤 朋日氏 アサヒ飲料㈱ 技術研究所 生産技術グループ 課長 長谷川和夫氏	2 10:30~10:55 流通耐熱PLA容器の開発 リスパック㈱ 技術開発本部 技術開発部 係長(包装管理士) ○水谷 善教氏	3 11:00~11:25 鍋つゆダンボールの減量によるコスト改善 ヤマキ㈱ 購買部 課長(包装管理士) ○林 好文氏 ヤマキ㈱ 商品開発部 開発一課 主任 坂井 紀康氏 レノゴ㈱ ㈱山工場 営業部 澤田 宗利氏	4 11:30~11:55 ゴックと刺激爽快 メガ飲み口蓋の開発 アサヒビール㈱ 容器包装研究所 副課長(包装管理士) ○関 亮一氏 昭和アルミニウム缶㈱ 技術センター 研究開発部 三菜 守弘氏 昭和アルミニウム缶㈱ 技術センター 研究開発部 佐藤 純一氏
12:25~13:30	昼食休憩			
研究発表部会名	食品包装部会 301会議室 (3F)	輸送包装部会 302会議室 (3F)	輸送包装部会 303会議室 (3F)	
発表時間帯	1 13:30~13:55 [明治チューブでバター1/3]のユニバーサルデザインに配慮した容器改善 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G(包装管理士) ○大平 祐敬氏 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G 東 俊二氏 ㈱明治 生産本部 技術部 包装G長 関場 裕氏	2 14:00~14:25 「瓶スライス」シリーズの「パッケージ改良に関する取り組み」 ハウス食品㈱ ソマテックセンター 容器包装開発部 主査(包装管理士) ○加藤 健吾氏	3 14:30~14:55 MicVacシステムで製造されたチルド食品の品質保持性 大日本印刷㈱ 包装事業部 包装研究所 教員 丸山 隆雄氏 女子栄養大学 短期大学部 包装研究所 小川 紀子氏 大日本印刷㈱ 包装事業部 包装研究所 古谷 紀子氏	4 15:00~15:25 キッチンユースに適した鮮度保持容器の開発 キッコーマン食品㈱ プロダクト・マネジャー室 兼 商品開発本部 ○福本 将士氏 キッコーマン食品㈱ プロダクト・マネジャー室 兼 商品開発部 包装管理士 桑田 傳美氏
15:30~15:55	プロセステーゼの品質劣化指標の特定と品質維持条件のマッピング化 雪印メグミルク㈱ ミルクサイエンス研究所 食品加工研究室(包装管理士) ○下浦 博之氏	5 15:30~15:55 カーナビゲーションシステムの包装改善 雪印メグミルク㈱ 第1営業本部 包装管理課 包装管理課 担当係長(包装管理士) ○加藤 和也氏		

11月30日(金)		国際会議場 (2F)	
時間	内容	会場外観	会場内観
研究発表部会名	食品包装部会 301会議室 (3F)	輸送包装部会 302会議室 (3F)	輸送包装部会 303会議室 (3F)
発表時間帯	1 10:00~10:25 樹脂原料供給元変更に伴うキャップ材質の検討 ヤマサ醤油㈱ 製造本部 製品部 製品課(包装管理士) ○小牧 三輪子氏 ヤマサ醤油㈱ 製造本部 製品部 製品課 課長 月岡祐一郎氏	2 10:30~10:55 メカニカルサイクルの安全性評価と今後の展開 サンドリビジネスエキスパート㈱ 新材技術開発推進部 ○菊池 大輔氏	3 10:30~10:55 洋酒におけるフローズンドリンク製造装置を用いた新しい飲み方提案 サッポロビール㈱ 商品技術イノベーション部 パッケージング技術開発センター マネージャー ○成田 秀一氏 サッポロビール㈱ 商品技術イノベーション部 パッケージング技術開発センター マネージャー 杉山 尚明氏
11:00~11:25	缶つゆダンボールの減量によるコスト改善 ヤマキ㈱ 購買部 課長(包装管理士) ○林 好文氏 ヤマキ㈱ 商品開発部 開発一課 主任 坂井 紀康氏 レノゴ㈱ ㈱山工場 営業部 澤田 宗利氏	4 11:30~11:55 ゴックと刺激爽快 メガ飲み口蓋の開発 アサヒビール㈱ 容器包装研究所 副課長(包装管理士) ○関 亮一氏 昭和アルミニウム缶㈱ 技術センター 研究開発部 三菜 守弘氏 昭和アルミニウム缶㈱ 技術センター 研究開発部 佐藤 純一氏	5 12:00~12:25 飲料用小型パーソナルボトルの改良 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G(包装管理士) ○藤原 孝文氏 日本トヨパック㈱ 研究開発本部 包装開発G 丸山 隆雄氏 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G 上高瀬 亮氏 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G 二村 昌秀氏
12:25~13:30	昼食休憩		
研究発表部会名	食品包装部会 301会議室 (3F)	輸送包装部会 302会議室 (3F)	輸送包装部会 303会議室 (3F)
発表時間帯	1 13:30~13:55 [明治チューブでバター1/3]のユニバーサルデザインに配慮した容器改善 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G(包装管理士) ○大平 祐敬氏 ㈱明治 技術開発研究所 PSC 包装開発G 東 俊二氏 ㈱明治 生産本部 技術部 包装G長 関場 裕氏	2 14:00~14:25 「瓶スライス」シリーズの「パッケージ改良に関する取り組み」 ハウス食品㈱ ソマテックセンター 容器包装開発部 主査(包装管理士) ○加藤 健吾氏	3 14:30~14:55 MicVacシステムで製造されたチルド食品の品質保持性 大日本印刷㈱ 包装事業部 包装研究所 教員 丸山 隆雄氏 女子栄養大学 短期大学部 包装研究所 小川 紀子氏 大日本印刷㈱ 包装事業部 包装研究所 古谷 紀子氏
15:00~15:25	キッチンユースに適した鮮度保持容器の開発 キッコーマン食品㈱ プロダクト・マネジャー室 兼 商品開発本部 ○福本 将士氏 キッコーマン食品㈱ プロダクト・マネジャー室 兼 商品開発部 包装管理士 桑田 傳美氏	5 15:30~15:55 プロセステーゼの品質劣化指標の特定と品質維持条件のマッピング化 雪印メグミルク㈱ ミルクサイエンス研究所 食品加工研究室(包装管理士) ○下浦 博之氏	

No. 貴社所在地(〒) 法人会員・個人会員・個人会員・個人会員 No. 参加費(参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (合計) ¥

参加費の振り込め口座 No. 振込先 銀行 口座名 当座預金 No.1634 口座名 「シャ」ニホンホウソウキョウカイ 振込金額 参加費 ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (合計) ¥

参加費の振り込め口座 No. 振込先 銀行 口座名 当座預金 No.1634 口座名 「シャ」ニホンホウソウキョウカイ 振込金額 参加費 ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (合計) ¥

参加費の振り込め口座 No. 振込先 銀行 口座名 当座預金 No.1634 口座名 「シャ」ニホンホウソウキョウカイ 振込金額 参加費 ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (合計) ¥

参加費の振り込め口座 No. 振込先 銀行 口座名 当座預金 No.1634 口座名 「シャ」ニホンホウソウキョウカイ 振込金額 参加費 ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (参加費) ¥ (合計) ¥